

## 学習活動例 1

### 団体鑑賞（基本活動）例

ねらい：美術館において、作品をじっくり鑑賞したり、感じたことや考えたことを対話したりして、表現のよさを感じるとともに、鑑賞の楽しさを味わうことができる。また、美術館の施設見学と美術作品を鑑賞する活動を組み合わせることにより、美術館の魅力やよさも知ることができる。

対象：幼稚園から大学（いくつかのグループに分かれて鑑賞します）

実施日：開館日

時間：60分程度（表現活動等と組み合わせる場合には90分以上）

案内：岐阜県美術館 教育普及係（1～6名）

費用：無料

活動内容	備考
1 講堂（スタジオ）へ移動 2 オリエンテーション ・美術館や展覧会の説明を聞き、鑑賞活動への意欲を高める。 ・鑑賞する際の約束やマナーについて確認する。	・観覧料等免除承認書を係員に見せ、正確な参加人数を伝える。
3 少人数のグループに分かれて鑑賞（展示室・美術館ホール） ・教育普及係員の引率で作品鑑賞を実施し、対話型鑑賞にも取り組む。 ・じっくり鑑賞し、色や形、表現されているもの表現方法から感じたことや考えたことを会話する。  ※鑑賞後に表現活動を希望される場合は、スタジオかアトリエに移動して実施する。	・学年の発達段階に応じた作品を選択し、問いかけを工夫して実施する。 ・メモを取る場合は、鉛筆だけ使うことができる。 ・引率者は、児童生徒の鑑賞態度を見守り、接触事故などが起きないように、個に応じた支援や配慮をする。 ・展示室内での写真撮影は許可と腕章の着用が必要になる。 ※表現活動に必要な物品は美術館で準備する。
4 講堂（スタジオ）へ移動 ・振り返りを行い、印象に残った作品について交流する。 ・美術館を利用することのよさを実感する。 ※振り返り後に美術館で昼食を摂る場合は、事前に確認し、庭園かスタジオ、アトリエを利用する。	・鑑賞で感じたことや学んだことを交流できるようにする。 ※ごみは必ず持ち帰るようにする。

※40人までであればオリエンテーションや振り返りはスタジオで行うが、40人を超える大人数の場合は、講堂にて実施する。